

## コスタリカ内政・外交定期報告（2017年7月～9月）

2017年7月～9月の当国内政・外交主要事項は以下のとおり。

### 【要旨】

#### 内政

●一連の中国セメント問題を巡り、不正融資に関与した国立コスタリカ銀行（BCR）の頭取等が辞任。行政・立法・司法の三権の高官を巻き込む事態となり、国民の政治不信が増長。

●当国にとって最大の課題である財政赤字がいつまでたっても解消できず、ソリス大統領自身が国民に対して直接説明を行う事態が生じた。野党のみならず与党からも非難が噴出し、大統領の指導力を疑う声もでてきた。

#### 外交

●9月に国連総会がNYで開催。ソリス大統領とゴンサレス外相にとって、現職としては最後の出席となった。

●ゴンサレス外相が日本を公式訪問。河野外相と会談を行った他、北岡JICA理事長表敬、国連平和大学での講演等を行い、日・コスタリカ二国間関係が更に深まった。

### I 内政

#### 1 中国セメント問題

7月5日、当国の大手国営銀行である国立コスタリカ銀行（BCR）のパオラ・モラ頭取等が、中国製セメントの輸入を巡る不正融資疑惑の責任を取って辞任。セメントを担保とした本件融資は、融資額に見合う資金回収の見通しが不透明である状況を認めた。中国セメント輸入会社のボラーニョス社長が、財務省幹部、国会議長、最高裁判所判事等国家の三権高官に対して贈賄行為を行っていた疑惑が明るみに出た。これにより国民の政治に対する不信が増長した。

#### 2 財政赤字問題

8月1日、ソリス大統領が自ら財政の窮状に関する国民向けテレビ演説を実施。厳しい財政状況に鑑み政府は今後の歳出を制限せざるを得ない旨述べた。大統領は、財務省に対し、第一に国債、公務員の給与及び年金、第二に関係政府機関への交付金、第三にその他の支払いという優先順位で中央政府の歳出削減を実行するよう指示。野党のみならず与党である市民行動党（PAC）の有力議員からも、ソリス大統領の突如の決定を非難する声が上がった。

### II 外交

#### 1 二国間関係

##### （1）対北朝鮮関係

8月30日、コスタリカ外務省はプレスリリースを発出し、北朝鮮により行われた水爆実験および一連の弾道ミサイル実験を厳しく非難した。また、FEALAC外相会合閉会に際しては、9月3日、ゴンザレス外相とカン韓国外相で共同記者会見を開き、朝鮮半島の非核化に向けて一致した対応を表明した。

さらに8月17日には、コスタリカ国会は、北朝鮮情勢に関し、国際社会の平和と安全を脅かす北朝鮮の行動を非難し、朝鮮半島の緊張緩和に向け、北朝鮮の行動と外交手段による問題の解決を求める決議を可決した。

##### （2）対中関係

9月15日から16日にかけて、王毅・外交部長が外交関係樹立10周年の佳節を踏まえて当国を公式訪問。ソリス大統領への表敬訪問及びゴンサレス外相との外相会談を行った。両国外相は無償資金協力にかかる経済・技術協力協定に署名し、1,528万ドル相当の無償資金協力の実施が定められた。

#### (3) 対ベネズエラ関係

8月28日、ルイサ・オルテガ・ベネズエラ検事総長がコスタリカに入国。コスタリカにおけるカウンターパートのホルヘ・チャバリエ・ラテンアメリカ検事委員会議長と会談を行った。オルテガ検事総長はベネズエラの制憲議会によって罷免されたが、コスタリカ政府は同議会を承認しない旨表明した。

#### (4) 対日関係

7月19日から21日にかけて、樋口文部科学省政務官がコスタリカを訪問。ゴンサレス外相及びグティエレス教育次官と会談した他、サンホセ日本人学校や国連平和大学を視察した。

また、8月2日から5日にかけて、平将明議員を代表とする衆議院環境委員会調査団が当地を訪問。コスタリカ友好議連所属議員と会談を行った他、マヌエル・アントニオ国立公園の視察を行った。

## 2 多国間関係

### (1) 核兵器禁止条約の採択

7月7日、国連交渉会議の最終日において、核兵器禁止条約が採択された。同交渉の議長を務めたエライン・ホワイト在寿府代コスタリカ大使のイニシアティブの下、コスタリカは同条約採択に積極的に貢献した。

## 3 ソリス大統領の外遊

### (1) 第72回国連総会出席

9月17日から20日の日程でNYを訪問し、第72回国連総会に出席。大統領としては最後になる一般討論演説を行った他、グランダー・ガイアナ大統領、モレノ・エクアドル大統領、トルドー・カナダ首相及びグテーレス国連事務総長と会談を行った。女性の経済的エンパワーメントについての事務総長ハイレベルパネルでは共同議長をつとめるとともに、核禁止条約会議で署名を行った。

## 4 ゴンサレス外相の外遊

### (1) FEALAC外相会合出席

8月30日から9月1日の日程で、韓国、釜山にてFEALAC外相会合が開催された。1日には、同機関をより活動的なものにするための新アクションプランを採択した。コスタリカは、前会合の開催国であり、今会合においてもそのリーダーシップを発揮した。また、フォーラム内での協力プロジェクトの具体化を可能とする財政基金を立ち上げることで一致した。

外相会合開催中、ゴンサレス外相はジョクセン・ブルネイ第二外務貿易大臣、ムン韓国大統領及びカン韓国外相と会談を行った。

### (2) 韓国訪問

FEALAC外相会合出席後、韓国・ソウル市を公式訪問。ヒョンチョン貿易大臣と韓国・中米諸国間との自由貿易協定について議論を行い、本年度後半には署名をすることで一致した。その他、パク・ソウル市長及びグローバルグリーン成長研究所理事長と会談を行った。

### (3) インドネシア訪問

9月4日、アジア外遊の一環としてインドネシアを訪問。ルトノ外相と会談を行い、ASE

ANとのつながりを強化・多様化することへの意欲を示した。また、在インドネシア・コスタリカ大使館の開所式に参加し、32年にわたる両国の友好関係を確認し合った。さらに、ジャカルタにあるASEAN事務局を訪問し、ヒルバランASEAN副事務総長を表敬した。

#### (4) 日本訪問

9月8日、日本を公式訪問。河野外相と会談を行い、政治や国際協力を含む共通の課題について議論を交わし、北朝鮮による核実験等の挑発的行為に対する強い非難を表明した。その他、JICA北岡理事長との会談及び国連大学においてコスタリカの政策・立場についての講演を行った。

#### (5) 第72回国連総会出席

大統領の首席随行人としてNYに赴き、紛争を解決する手段としての水に関する協力ハイレベルイベント、拷問なき経済活動のためのグローバル同盟、世界環境憲章、ベネズエラ情勢に関するリマグループ会合、第41回G77+中国会議等に参加した。

#### (6) シャラーフ・アラブ首長国連邦経済担当外務副大臣の当地訪問

9月29日、シャラーフ・アラブ首長国連邦経済担当外務副大臣が当地を公式訪問し、ゴンサレス外相と会談を行った。近年両国は国際協力・外交・貿易等の分野においてますます結びつきを深めており、この訪問は、本年1月にソリス大統領による同国への公式訪問の成果であるといえる。

## 5 SICA関係

9月28日、パナマにて第71回SICA外相理事会が開催され、ゴンサレス外相が出席。前回のサンホセでの会議で提案されたアジェンダを実行するようSICA加盟国に要請した。